

# 令和3年度（2021年度）熊本県高等学校総合体育大会ソフトボール競技 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

令和3年5月17日

- (1) 無観客で開催する。
- (2) 参加については、顧問及び登録選手とする。ただし、各学校2名（生徒又は教職員）まで記録撮影としてグラウンドに入ることを可とする。
- (3) 部員（マネージャーを含む）の参加は、同意書（別紙1-1）を提出したものに限る。また、顧問等は証明書（別紙1-2）を各チーム1試合日の前までに専門部に提出する。
- (4) 顧問・部員は、大会当日、検温を含めた健康観察を行い、検温確認表（別紙2）を毎日各チーム1試合日の前までに専門部に提出する。なお、顧問は大会実施中の参加部員の体調管理に努める。
- (5) 新型コロナウイルス感染症に関し、以下のア～カに該当する場合は大会に参加できない。
  - ア 感染が判明し、治癒していない場合。
  - イ 濃厚接触者に特定され、起算日から2週間経過していない場合。
  - ウ PCR検査を受けて、陰性が判明していない場合。
  - エ 発熱等の風邪症状や息苦しさ、倦怠感、味覚・嗅覚障害等の症状がみられる場合。
  - オ 同居家族に発熱等の風邪症状がみられる場合。
  - カ その他、保健所から参加を控えるよう指示があった場合。
- (6) 移動中を含め、マスクの着用を徹底すること。（プレー中の選手は例外とする。）
- (7) タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避け、出たゴミは各自持ち帰ること。
- (8) 手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
- (9) 大会終了後2週間以内にチーム関係者内で感染者が発生した場合には、主催者に対して速やかに報告すること。
- (10) 試合終了後のベンチの消毒は専門部で行う。
- (11) 試合前の打順表最終確認の際は、可能な限りお互いの距離を取り、監督、審判の握手は行わない。
- (12) 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をして行う。試合終了時も同様の形態とする。
- (13) バット、ヘルメット、グローブ、打撃用手袋、ロジンバッグなどは各選手が使用し、可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない用具については、こまめに消毒・洗浄等を行うこと。
- (14) 唾、痰を吐く行為を禁止とし、選手(特に投手)は指をなめてはいけない。
- (15) 握手、ハグ、ハイタッチなどの身体的接触を避け、グラウンド内での円陣は控える。
- (16) ベンチ内での選手間の距離は、できるだけ2m(最低1m)を確保する。
- (17) ベンチ内から声援や指示を出す場合は、対人距離に注意する。
- (18) 監督が審判に近づく際は最低2mの距離を保つよう対人距離に注意する。
- (19) 監督、引率責任者、控え選手及びランナーコーチも必ずマスクを着用すること。
- (20) 会場への移動(自家用車・マイクロバス等)の際も、感染拡大防止対策を十分に行うこと。
- (21) この他、県教育委員会及び国・県ス協、日ソ協等からのガイドラインや留意事項等を十分遵守のうえ参加すること。

ガイドラインを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることをご理解いただきますようお願いいたします。